

東邦キャンパス

平成 26 年 (2014 年) 1 月 7 日

発行 学校法人 東邦学園

〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘三丁目 11 番地

TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931

H P  検索  愛知東邦大学
東邦高等学校

東邦学園 創立90周年記



新たな歩みへ

明けましておめでとうございます。学生、生徒は学業、課外活動をはつらつと励んでいます。大学では図書館棟の新築と耐震化工事を進めています。

学園は今年度、創立90周年を記念した諸行事を催してきました。上の写真は創立90周年の記念式典を、昨年10月31日に名古屋市内で開いた際の様子です。大村秀章知事ら愛知県関係者を始め、大学、高校などお世話になった200人余の方々がお越しくださいました。米、中、豪、NZの姉妹校からも学長・校長らに来ていただきました。式の締めくくり、愛知東邦大学の新しい校歌『明日へのキャンパス』を学生が熱唱しました。「扉を開けよう 最高の時代の」。会場から大きな拍手が起きました。(10、11ページ参照)

学園のバスを生徒がデザイン

右の写真は、学園の大型バスの外装をデザインし直した東邦高校の美術科と商業科の2年生たちです。生徒2チームで競い合いながら車体の4面を制作。10年以上走り続けたバスは、見違えるような姿になりました。

学園は90年の歴史を踏まえつつ、「真面目」と「信頼」を最も大切にして、100周年へ歩み出します。





伝統と革新 そして未来へ

地下鉄名古屋駅ホームの広報を、東邦高校商業科グラフィックデザインコース2年生が作成しました。未来志向の学園をイメージした作品の中から、1つが実際に掲出されます。



「信頼」から「敬意と誇り」へ

東邦学園理事長 榊 直樹

秋田県はかつて全国最下位だった小中学生の学力成績が、いま全国一位です。なぜ引き上げられたのか。支えているのは、学校と地域が互いに「敬意」と「誇り」を大切にしようとした姿勢だと感じました。2日間の秋田視察の報告をもって、年頭のご挨拶とします。

昨年11月、秋田県教委、秋田市立の中学校、不登校生徒を受け入れる県立明德館高校、秋田大学教育文化学部の教授をお訪ねしました。

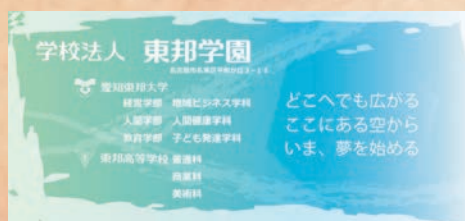
秋田では昭和30年代、全国学力テストで最下位が続いた時、跳ね返そうという声が上がったそうです。「大都市に比べれば豊かじゃない。でも、学力の低さまで仕方ないと諦めるのか」と。それから約半世紀、見学した中学はどの教室も落ち着いた雰囲気でした。数学ではグループ学習で点字を翻訳させ、生徒同士が真剣にやり取りしていました。校長は「考える力を付けることが一番大切です」と話された。学力テストの思考力を試す設問では他県を大きく引き離しています。

印象に残った取り組みをあげると、①小学1年から家庭学習を習慣付ける ②学習ノートに担任が丁寧に目を通す ③授業は正解を真っ先に求めるより、考える努力や過程を重んじる ④教育監と呼ぶ模範的な教員を中心に、授業研究を絶え間なく続ける——です。

面会した方に共通したのは、人口減少著しい秋田で「最も大切にすべきは人を育てること」という強い思いでした。そのために学校は、生徒や保護者、地域住民から信頼され敬意を示される存在であり続けること、その眼差しを浴びながら教職員はいつその誇りを持って役割を果たしていける。互いの不文律になっているように感じました。

創立90周年を超えても、建学の精神のキーワード「真の信頼」は不変です。その先にあるのは「敬意を示され、誇りを持てること」ではないか。確信を深めています。





大学と研究

愛知東邦大学学長 成田 良一



新たな一歩に向けて

東邦高等学校校長 長沼 均俊

新年明けましておめでとうございます。

大学は教育・研究の活動をする場です。現在では、中でも教育に大きい比重をかけています。ただし教育には背後にある研究活動からのフィードバックも欠かせません。

学問をやっていて一番面白いことは何でしょうか。分野や研究者によって異なるとは思いますが、私が魅力を感じるのは、従来こうだと考えられてきたいわば常識を根底から覆すような発見です。数学では19世紀に始まる無限の階層性の解明、物理学では20世紀初頭の量子力学や相対性理論の成立、論理学から発展した計算論などが典型でしょう。これらによって世界の見方ががらりと変わりました。

私たちの日常生活にはあまり関係が無いと思われるかも知れませんが、実は各所にその成果が隠れています。例えば量子力学から発展した半導体の利用は各種の工業製品に必須のものです。

ただ、世界観を変えるような大きい発見も、日常的に行われる地道で膨大な研究を通して初めて生まれてくるものです。天才がある日突然出現して生み出すものではありません。年頭にあたり、学問研究の原点に戻って自分の活動を振り返り、新たな一年の研究成果を出したいものだと考えています。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の学園90周年行事を通して、私自身改めて考えさせられたことがあります。それは「創業より維持が難しい」という話です。これは、古来中国から伝わり我国で読まれた貞観政要という書物に出てくる「草創と守文いづれが難きや」という問いに対する答えだということです。

貞観政要について解説した作家の山本七平氏によると、創業は到達すべき目標がはっきりした陽性の、いわば登山にも似た点があると言っています。しかし、事業はそこで終わるわけではなく、山頂をきわめても其処から絶壁断崖の地形を歩いていくかも知れないことから、草創(創業)より守文(維持)が難しいということです。

考えてみると、我々は長い歴史を通じて培われた伝統を重んじる風があります。これには大事なものを維持・持続させてきたことへの敬意が感覚的に含まれているのかも知れません。どのようにすれば創業時の精神を未来につなげていけるのか、貞観政要が示しているように、その守文(維持)にこそ、新たな発想や次の目標に挑戦する気概が必要なのだと思います。2014年が東邦の新たな一歩となるよう努力してまいります。



高校の行事

思い切り楽しんだ体育祭と文化祭

生徒会正顧問 水谷 光博



9月25日(水)体育祭は、団対抗リレーなど9つの競技・レク種目や大縄跳び、綱引き、新種目の台風の目などの団体種目、また、総力あげた応援合戦、そして、伝統の1年生全員による花笠踊りと「TOHO90」を表現した組体操など多彩な内容で行われ、生徒たちは大いに力を競い合い、楽しみました。

9月27日(金)28日(土)の文化祭は、テーマ「90th東

邦color～未来へつなげ～」を掲げ、展示バザー、舞台、模擬店、教室パフォーマンス、クラブ発表、有志バンド・ダンス、PTA・同窓会企画などを通して、仲間



と力を出し合って、1つのものをつくりあげる喜びを実感することができました。生徒たちの生き生きとした姿が印象的でした。2日目には学園祭本部企画討論会「私たちの知らない沖縄の今」へ名古屋大学大学院法学科の本教授をお招きし、沖縄の基地問題や憲法改正を観客の方々とともに真剣に討論しました。また、模擬店やバザーの売り上げは、愛知私学奨学資金財団、気仙沼市災害対策本部、福島県災害対策本部、沖縄ひめゆり平和祈念資料館、ユニセフ、WFP、名東区の戦争と平和の資料館ピース愛知などへの募金として社会貢献に役立てられています。



文理特進、SPPで岐阜大へ

コース責任者 稲葉 益夫

9月に計3日にわたり、岐阜大学応用生物科学部と高大連携授業であるSPPが実施されました。理数コース時代から続くこの企画は、東邦高校として採択された回数では8回目の実施となります。名城大、名大、名工大に次いでこの企画となります。現在、文理特進コース1年生に対して、文理選択前の生徒に向けて企画するよう考えています。しかし、近年文科省の予算削減のあおりを受けて、SPP採択数は減少傾向にあり、愛知県全体でも例年数校の実施です。そのような中での連続実施となっています。



今年のテーマは、「“光る”タンパク質とその遺伝子DNA」であり、オワンクラゲから発見された「緑色蛍光タンパク質(GFP)」を用いて、簡単に生化学を学ぶことを目的としました。今回担当された中川先生の熱意が高く、生徒教員ともに評価は高いものになりました。まだ、この時期では生徒個々の進路目標は定まっていない者が多く、この企画への参加がきっかけで理系進路を考えだすものが複数生じたほど、よい企画となりました。次年度以降も取り組めるよう、大学との連携を強くしていきたいと考えています。

注：SPPとは、サイエンスパートナーシッププロジェクトの略

キャリア教育 2年目の企業探究プログラム

昨年度、初の取り組みにして全国大会出場を果たした企業探究プログラム。

本校が積極的に取り組んでいるキャリア教育の一



環である本プログラムも2年目を迎えています。昨年は全てが手探りで進めてきましたが、今年は昨年度の反省や改善を含め授業に臨んでいます。企業から与えられる難解なミッションには、高校生の柔軟で常識にとらわれない発想が最大の武器となります。

建学の精神に立ち返り、生徒たちの主体的な学びを深めていく教育改革にこれからも取り組んでいきます。

第21回未来の芸術家たち展

美術科教諭 小塚 康成

美術科・商業科グラフィックデザインコース卒業制作展が11月12日(火)～17日(日)まで、愛知芸術文化センター8階にて開催されました。6日間で1,776人もの来場者があり、ここ数年では最も多い来場者となりました。会場には平面作品から立体作品まで幅広く展示され、見応えのある展覧会となりました。展示に関わった生徒諸君には、この卒業制作で得た自信が、次への進路に繋がっていくことを願っております。最後に、教職員の皆様、ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。(関連写真 裏表紙)

愛知東邦大学と東邦高校、力を合わせて地域貢献 平和が丘秋祭り

生徒会正顧問 水谷 光博

11月3日(日)、秋晴れの下、恒例となった平和が丘秋祭りが開催されました。今年は、東邦高校英語科主催の英語スピーチコンテスト(県下の中学生が多数参加)が大学・高校を会場とし行われ、愛知の私立高校が結集したビッグフェスティバルが名城公園で開催されたりと、東邦生は各地で大活躍の日でしたが、地元平和が丘の秋祭りへも、科学研究部、合唱同好会、生徒会執行部をはじめとして多くの東邦生、教職員が参加し祭りを盛り上げました。

今年の目玉は、愛知東邦大学の学生有志が、地域の子どもたち相手に大ゲーム大会を実施し注目を浴びていました。

祭りの締めは、餅投げ。数百名が待ち構える中、東邦生徒会執行部も投げ手に加わり楽しい一日を終えました。

高校では、夏祭り、そして毎学期、学年別に行って

いる通学路清掃など平和が丘学区への貢献をできたらの思いで取り組んできました。この秋祭りがはじまって20年以上の月日が流れましたが、平和が丘学区、平和が丘神社、東邦高校そして、愛知東邦大学が協力した地域の人たちとのふれあいの場を末永く続けていけたらと思います。



国際交流の様子をお知らせします！

国際交流室長 伊藤 保憲

2学期の国際交流はまさに盛りだくさんでした。夏休みに行われた海外英語研修は2011年に地震が発生して以来、2年ぶりのクライストチャーチ。

姉妹校Shirley Boys' High Schoolは、校舎の一部が使えなくなっていたものの、1200人の男の子たちが元気に生活していました。地震後、校地の移転を余儀なくされた別の姉妹校、Marian Collegeも東邦生を大歓迎してくれました。参加した生徒たちは、ニュージーランドが第二の故郷になったと言えるほど、充実した3週間を送ることができました。

9月には、逆にニュージーランドの2校の姉妹校が本校を訪問しました。姉妹校交流の最大の魅力は「再会」のチャンスだと思います。本校に訪れたニュージーランド生は、クラス交流、着物の試着、3年生美術科との交流を通して、とても楽しい東邦での時間を過ごしました。彼らは本校生徒宅にホームステイをして、日本の文化、生活習慣などにも触れることができました。

12月にはオーストラリア姉妹校、サレジオから留



学生4人をお迎えしました。いくつかの授業を本校生とともに受講しています。留学生のみならず、留学生とともにたくさんの時間をともに過ごす本校生にとっても、貴重な経験になることと思います。

ここには書ききれないたくさんの国際交流活動が展開されました。グローバル化した社会に生きる一員として、異なるものを認め、受け入れる力を育てられる国際交流教育を進めていきたいと思っています。

大学の行事

「和丘祭」を終えて



学生委員長

矢内 淑子

11月9日(土)・10日(日)、「和気愛々」をテーマに開催された第49回「和丘祭」は、天候は今一つでしたが、学内だけでなく多くの近隣の方々に参加していただき、「ワイワイ、ガヤガヤ」楽しんでいただける大学祭となりました。

教室や体育館では、講演会、演習発表、キッズ広場、絵画展、東邦大学校歌披露、健康教室、リラクゼーションマッサージ、東邦シネマ、クロリティー大会などが行われました。特設舞台では例年のお笑いライブ

や戦隊ショー、カラオケ大会、クラブの発表に加え、見ている人も参加して楽しめるロシアンルーレットや腕相撲、ジャンケン大会、地域の方々と一緒に踊るチアダンスでは、大いに盛り上がりました。



今年の学生会のメンバーは毎週月曜にミーティングを開き、早くから大学祭の準備に着手しました。運営面では上級生がすべてを仕切るのではなく、事前にイベントの役割分担を決めて、下級生が経験を通して責任感や自信を持てるようにしました。耐震工事による校舎リニューアルに伴い学内での掲示が制限される中で、早い段階でポスターを掲示してイベントの参加者を募集したことで、大勢の学生がエントリーしてくれたことはひとつの成果といえます。模擬店も、クラブ、サークルの有志による出店が増加しました。今後、学生が主体的に動く運営にシフトしていけることを願っています。



インターンシップ

本年度のインターンシップでは、経営学部地域ビジネス学科13人、人間学部人間健康学科2人、計15人の学生が8月～9月にかけて実習を行いました。本年度から「一人ひとりの個性をより活かすこと」を視野に新たなカリキュラムとなり、事前事後指導において教職員による個別面談を実施し希望先をヒアリングするなど内容をさらに充実させました。その結果、行政機関や旅行会社、福祉施設など多種にわたる事業所でお



実習風景

世話になり、学生にとって貴重な経験をさせていただくことができました。

約2週間という短い期間

でしたが、学生からは「働くことの難しさを痛感しました」「自分から何でも積極的に取り組むことが大切だとわかりました」といった声が聞かれました。今後はこの経験をこれから始まる就職活動で大いに活かしてくれることを期待しています。

図書館イベント次々と 読み聞かせコンクールに学生が挑戦

全国で毎年展開される秋の読書週間期間にあわせ本学図書館も利用者の皆さんに本の魅力を伝えるため、例年さまざまなイベントを開催して



います。今年も一生懸命スタッフが考え、クイズや紙芝居実演(たっちゃんの紙芝居)などを企画しました。

中でも学生参加型イベントとして実施している「読み聞かせコンクール」は今年で5回目となり、今回も学生が積極的に参加してくれました。お昼休みの短時間ではありますが5人の学生が自ら選んだ絵本や紙芝居を手し、先生、友人、職員、地域利用者を前にして日頃の練習の成果を発表しました。緊張感あふれる5人の学生一人ひとりに、会場からは優しい眼差しと温かい拍手が送られました。やり終えた学生たちのほっとした笑顔がとても愛らしく、絵本を通じこの経験が彼らたちの自信に繋がれば幸いです。

減災のための地域づくり

地域創造研究所所長 御園 慎一郎

地域創造研究所では一昨年の東日本大震災を踏まえて災害に関する研究会を開催しています。一昨年度は、被災の現状について学ぶとともに年度末の4回目には「減災のための地域づくり」をテーマとしてシンポジウムを行いました。



昨年度は、「街を歩いて身近な地域の成り立ちを知り、防災力を高めよう」をテーマとして名東区内のワールドワークとワークショップを実施しました。

今年度は、「実際に被災された方の生の声を聞く」をテーマに教育や企業経営の現場の方のお話をお聞きます。

さらに、昨年から東日本震災の被災地のみならず、世界各地の難民キャンプや戦争、災害被災地などで医療支援活動が続けておられる桑山紀彦氏による映像と自作の音楽による公演「地球のステージ」を開催し、本年度も「地球のステージ2」を開催しました。

短期語学研修 フィリピン・セブ島(サンカルロス大学)

留学で学んだこと

人間学部人間健康学科3年 濱野 梓

2週間の短期研修を終えた今、本当に行けて良かったと感じています。以前から海外や英語について興味があり、1度は行きたいと思っていました。英語が全く分からない状態から、少しずつ理解できるようになっても、英語で答えることができず、伝えられない自分が情けなく、悔しい思いでいっぱいでした。



でも、それ以上に辛いことがありました。それは路上で寝ている人たちを見たときです。他にも小さい子どもたちが近づいてきてお金をたかってきたりしました。私たちが泊っていたホテルの窓からも見えました。こんなにも貧困差があることに衝撃を受けました。

まだまだこれだけでは書ききれませんが、この研修を通して、日本を客観的にみることができた良いきっかけになりました。どれだけ環境が整っていて安全であるか、思い知らされました。「もっと英語を勉強したい」そして「色々な国や文化に触れたい」という気持ちでいっぱいです。たくさんの思い出ができたこと、先生や仲間と一緒に経験できたこと、感謝です。

語学研修 ニュージーランド(リンカーン大学)

3ヶ月間の留学

経営学部地域ビジネス学科3年 後藤 美香

私は3月から6月までの3カ月間ニュージーランドへ留学しました。3カ月は長いようでとても短いものでした。行った当初は話したいことが伝わらなくシャイと言われ、目標であったボランティアも見つからなく、挫折する日々を送っていました。しかし、この



ままでは留学をしに来た意味がないと感じ、自分から積極的に話しかけることにしました。次第に伝えたいことも伝わり、多くの人と打ち解けることができました。そして、地域のチャリティーマラソンのイベントに参加をし、幼稚園の園児と遊ぶボランティアもでき、目標も達成できました。ホストファミリーや学校の友人、ボランティアで出会った人、さまざまな国から来た人と多くコミュニケーションをとることができ、その国の人の考え方がわかり、また積極的に自分がなれたので、この留学は自分を大きく成長してくれる素晴らしい3カ月間でした。

愛知東邦大学では、地域とつながる取り組みを企画・実施しています

名東区魅力マップ 作成中!!

経営学部地域ビジネス学科准教授 宮本 佳範

現在、3・4年のゼミ生と名東区魅力マップ(仮称)作成に取り組んでいます。これは、名東区役所とのコラボで2012年度の秋に始まった企画です。昨年末で卒業した学年も含めると3学年にわたる取り組みです。

具体的には、主に春休み、夏休みを利用して名東区のさまざまなスポットに実際に足を運び、写真を撮り、その魅力を伝える一言コメントを考えるといった作業をしています。さらに、マップ全体のレイアウト案なども考え、区役所の方にプレゼンしたりもしています。区役所の方を前にした発表はまだまだごこないです

が、彼らにとっては良い経験になるのではないかと思います。完成したら区のホームページで公開される予定です。最終的にこちらから提案したコメントやレイアウトがどの程度採用されるかはわかりませんが、どんなものが完成するか乞うご期待!!



地域連携PBL

愛知学院大学とのガチ討論

経営学部地域ビジネス学科助教 寺島 雅隆

本学経営学部の寺島ゼミ3年は、11月16日(土)に愛知学院大学経営学部の鶴飼ゼミとゼミ交流会を開催し



ました。テーマは「不労所得とアベノミクス」です。1週間前にはお互いに「報告要旨」をA4・2枚に記述し、論旨を把握しました。そして、当日は愛知学院大学の3106教室に集合し、席を対峙して討論を繰り広げました。

まずは、各10分のプレゼンの後、論点を整理して100分ほどの討論をしました。愛知学院側が、景気が悪くなれば株価も低迷し損をするという意見に対し、本学は株価が低迷しても「空売り」があると主張し、不労所得においては優勢でした。しかし、総合的な論理力においては劣勢となる場面があり、一層の鍛錬が必要だと感じました。最後はお互いの健闘を称え、幕を閉じました。来年は、本学でゼミ交流会を開催する予定です。

地域連携PBL

TOHO少年サッカー大会を1月に開催

経営学部地域ビジネス学科の大勝ゼミでは、小学生を対象にサッカー大会を開催します。

東邦学園の大学・高校を卒業したOBが指導にあたる小学生チームを対象に、人工芝グラウンドでゲームができる環境を提供します。子どもたちがスポーツ

を通じて交流を深めるとともに、指導者間のネットワークづくりの機会も提供します。



●日時：2014年

1月19日(日) 開会式8時40分

●会場：愛知東邦大学日進グラウンド

地域連携PBL(Project Based Learning)とは

..... 専門科目などの学習で習得したものを、実社会での経験を通じて発展させ深めるもの。

就職

大学 内定者報告会

就職課

11月9日(土)の大学祭初日、インターンシップ報告会の後に就職内定者3名の学生による就職活動報告会を開催し、主にこれから活動を始める3年生が参加しました。

報告会ではそれぞれが活動において苦労した点や注意すべき点などを熱く語ってくれました。取り組み方や就職に対する想いはそれぞれ違いましたが、3年生



にとって身近な先輩の実体験を聴くことは、本やインターネットなどで決して得ることのできない情報として大変貴重な機会になったと思います。参加した3年生からは「不合格になった時、気持ちを立て直すにはどうしたらよいか」「面接が苦手なので対策はあるでしょうか」など多くの質問が寄せられ、それに対して4年生も実体験に基づいた回答をし、その説得力のある回答を熱心にメモに取る姿が見られました。



瀬戸信用金庫内定

経営学部地域ビジネス学科4年

濱地 啓太

私はこの度、瀬戸信用金庫から内定をいただくことができました。日々の大学生活や、所属する硬式野球部での活動に一生懸命打ち込んできた成果が出たのではないかと考えています。野球部の活動では、チームメイトから「前向きな姿勢」を学ぶことができました。どんなことにも一生懸命に、そして前向きに取り組むことで得られることの大切さを教えてくれたチームメイトには本当に感謝しています。

就職活動では、自分の思うようにいかず、めげそうになることもあると思いますが、「前向きな姿勢が道を切り開いてくれる」と信じて頑張ってください。



名古屋市職員免許職 保育Ⅱ種に合格！

人間学部子ども発達学科4年

成清 吏紗

私は公務員試験の勉強を本格的に始めたのは6月半ばからでした。始めるのが遅すぎたので、私は保育Ⅱ(施設)でしたが、保育Ⅰ(保育所)を受けていたら倍率的に合格は難しかったと思います。勉強も毎日10時間しました。が本番で出来たのは4割程度です。

これから受ける方、諦めずに頑張ってください！自分が頑張れば頑張る分だけ、家族や友達、学校の先生や職員の方々、周りはたくさん応援してくれます。「結果よければすべてよし」です！



愛知県警察本体内定

経営学部地域ビジネス学科4年

竹橋 遼介

私が愛知県警を受けようと思ったきっかけは、幼少のころ住んでいた自宅が名東警察署の近くにあり、パトカーや警察官を目にする機会が多くそれらがかっこよく見えて憧れを持ったからです。

警察官採用試験に合格するためにまず努力したことは、筆記試験である一次試験に合格するために一冊参考書を買ってそれを繰り返し理解できるまでやったこと

です。そして補強として大学などで開かれる公務員試験対策講座を利用すると自分一人でやるより効率的だと思いました。次に体力と面接の試験である二次試験の対策としてはまずはランニングの実施、次に志望動機や時事問題、どんな警察官になりたいかなど必ず聞かれると思われる質問に対しては事前に答えを用意しておくこと、そして論文を書くときの決まりをしっかりと覚えること、以上の3つを徹底しました。

これから公務員試験の受験を考えている人はまずは筆記試験対策のための勉強をしっかりとすること、仮にその試験の倍率が低くても軽く考えずに自分の最善を尽くすことが大切だと思います。

90周年記念事業 華やかに



東邦学園90周年を記念して、昨年からさまざまな行事が開催されています。

10月26日(土)には愛知東邦大学を会場として、「講演と文化の集い」を行いました。今津孝次郎氏講演「教師が育つ条件」では現役の教員やこれから教師を目指す学生が話に聞き入りました。桑田真澄氏講演「試練が人を磨く」では約700人の参加があり、目に見えない努力が成果に繋がっていることを知りました。

10月31日(木)名古屋観光ホテルにておこなわれた「創立90周年記念式典・感謝の会」では大学の校歌も披露されました。(関連写真 表紙)



今津孝次郎氏 講演の様子

東邦OB対中京OB ～伝統の一戦を開催～



東邦高校OB 対 中京大中京高校OB戦
(於：岡崎市民球場)

2013年9月1日(日)、東邦学園創立90周年の記念事業の一環として、東邦高校と中京大中京高校のOB戦が実現しました。試合会場は愛知県大会決勝の舞台でもある岡崎市民球場。今では愛知県の高校球児の聖地になりつつある球場です。全国屈指の野球伝統校である両校のOB戦ということもあり、大勢のファンが会場に詰め掛けました。

開会式では、東邦学園から榊理事長、梅村学園(中京)からは梅村理事長がご挨拶されました。始球式の後のゲームでは、スコアボードに両チームの名選手達の名前が次々に掲げられ、場内アナウンスではかつて甲子園を沸かせた懐かしいプレイヤーの名前が連呼されました。それぞれ20代から60代までの各選手はグラウンドで躍動し、好プレーも次々にうまれました。結果は8対1で東邦OBが勝利しましたが、なによりも両校OBが交流できた素晴らしい機会となりました。



学園90周年を記念して愛知東邦大学の校旗と校歌を作成しました。

校旗は石田隆先生がデザインしたロゴマーク(正式に校章となりました)を中心に置き、深緑色を背景としたものです。校歌は、歌詞に使うキーワードを学生・教職員から広く募集し、それを元にして森泉博行氏が作詞され、真島俊夫氏が曲を付けられました。作成作業では、校歌ワーキンググループが検討と調整にあたりました。

学園創立90周年式典式辞

列席へのお礼

今日は、学園創立90周年の式典を開催させて頂きましたところ、大村愛知県知事、自民党愛知県議員団 私学振興議員連盟の倉知会長をはじめ、海外の5つの姉妹校を含む大学、高校など、日頃大変お世話になっております方々にお越しいただきました。誠にありがとうございます。

歩みを振り返る

さて、東邦学園の創始となった東邦商業学校は、下出民義先生が私財を投じて開学されました。実業家・福沢桃介氏と共に、この地域の電力、鉄道、製鋼など産業基盤を築かれた方ですが、数えの15歳の時に大阪の小学校で教壇に立って以来、教育に携わる夢を62歳にして叶えられたのでした。大正12年のことです。近代日本が列強の仲間入りを果たそうとした時期、真に信頼できる人格の育成を痛感されたのでした。

学園はその後、名古屋にありました育英商業を金城商業として傘下に加え、戦後は復興に立ち働く家庭を支えるため、いち早く東邦保育園を開設、勤労学生向けの夜間部も備えました。東邦中学校も一時期設けました。ベビーブーム世代が高校を卒業し始めた昭和40年には東邦学園短期大学、さらに平成13年、東邦学園大学(現在の愛知東邦大学)を開学致しました。

卒業生らに感謝を込めて

90年の歩みは、その歴史を作ってくださった、学園内外の方々への「感謝」の一語に尽きます。

愛知東邦大学校歌

明日へのキャンパス“Let's Take Off Together!”

一、若者が熱く集う そこは学びのキャンパス
幾つもの夢 飛び交う空に
明日の光り溢れ出す
青春の夢が叶う そこは育ちのキャンパス
今できること 確かめながら
平和の丘を見つめよう
目の前を駆け足で 走り行くこの時代
教えてくれた 信頼の時間(とき) 忘れない
忘れない いつまでも
Take Off! 東邦 ここから全てが始まる
Take Off! 東邦 羽ばたくその日を夢見て
扉を開けよう みんなで
最高の時代の 最高の時代の

作詞: 森泉 博行
作曲: 真島 俊夫

昭和9年、選抜甲子園に初出場で初優勝したチームは、創立間もない東邦の声価を一挙に高めてくれましたが、あまりの猛練習に、レギュラーの多くが長生き出来なかったと、当時の野球部長は述懐しております。昭和19年12月には、勤労動員先の三菱重工名古屋発動機工場が爆撃を受けて、教員と生徒計20人が犠牲となった一方で、選抜優勝旗は身を挺して空襲から守り、平和が戻った甲子園球場へ届けたのでした。

各界で輝いた卒業生がいます。国務大臣や政党の要職を数々歴任された国会議員、国際コンクールでグランプリに輝いた映画監督、欧米を拠点にして混沌とする今と未来へ、鋭い問いを発する現代アート作家、日本の十指に入る資産を一代で築かれた企業経営者、プロのCGアーティストがアジア各国から集う展覧会に高校在学中から招かれていた芸大生……。私学である東邦学園がリベラルで個々の自主・自立の精神を涵養してきた姿だとすれば、嬉しいことです。さらにお一人ずつ紹介はできませんが、真に信頼される人材として多くの方がこの地域を支え、時代をつないできたのでした。

この間、6万人近い生徒と学生が学び、彼ら彼女たちを育て、見守ってくれた教職員と保護者、学園を愛してくださった方々の情熱と努力のお陰であります。

またこの30数年は、私学助成の形で国民から多大の支援をいただいていることも、感謝しなければなりません。

未来への決意

90周年の節目に際して、世界を見渡しますと、資源争奪を巡るナショナリズムのぶつかり合いと、民族・宗教対立の先鋭化に強い危惧を覚えます。

21世紀中葉を支える人材に求められる一つの姿は「自立した市民として、国境や民族、宗教を超えたコミュニティーを築ける力」ではないでしょうか。その時最も大切なことはやはり、常に「真面目を旨とし」、「真に信頼されること」であります。創設者・下出先生が示された建学の精神を支柱に据え直し、東邦学園の新たな歩みへ踏み出す決意です。

皆様に深く感謝申し上げますと共に、これからも叱咤激励をいただきながら、学園を温かく支えていただけますよう、お願い申し上げます。

平成25年10月31日

学校法人東邦学園 理事長 榎 直樹

キャンパス短信

法人

「21TOHO教育充実事業募金」 ～ご協力に深謝～

21TOHO教育充実事業募金事務局

学園では教育環境整備、施設設備の充実、教育研究活動の奨励に取り組むため、21TOHO教育充実募金活動を展開しております。これまでも多くの方々から多額の募金を頂戴し、高校新校舎の建築や大学新学部増設およびグラウンド新設のための資金として運用させていただいております。

また本年9月には、高校8回卒業生の仲正興氏が本校を訪問された折、500万円の募金を頂戴いたしました。皆様方からのご支援に対しては、「人格教育」を重視する建学の精神に立った21世紀に有意な人材を育て、卒業生が実業界をはじめ各界で活躍することで恩返しさせていただきたいと考えております。

なお、募金についての要項ならびに寄付金の免税措置につきましては、大学・高校の各ホームページにも掲載しております。今後ともご理解を賜り、ご賛同をいただけますよう衷心よりお願い申し上げます。

大学・高校

平和を祈る、慰霊の日

12月3日(火)、慰霊の日の献花式がおこなわれました。これは1944年12月13日当時の三菱重工業株式会社名古屋発動機製作所に対する米軍の空撃により、犠牲となった本校教職員・生徒のご冥福を祈るために毎年続けられています。



冬空の下、辰巳会の方々をはじめ大学・高校の学生・生徒・教職員が多数参列しました。

大学・高校

地域とつながる納涼音楽祭

高大連携協議会

8月31日(土)夕刻から4回目の納涼音楽祭が開催され、地域の方々が大量来校してくださいました。本年は名古屋市郊外からの参加もかなりあり、参加の層も広がりが出ました。



子ども企画の充実は今年の見玉。愛知東邦大学の学生たちが、浴衣を身にまとい、絵本・輪投げ・ボーリングなどで子ども企画を盛り上げました。終了時間となっても、子どもから要望があり、笑顔で応えていました。

圧巻は階段席満杯の聴衆の皆さんを前にした高校吹奏楽部の演奏、さらに恒例となった花火大会が炸裂すると、一夏の終わり。皆さんの協力のおかげで、今年も地域の方々と楽しむことができました。

大学

2013年度 教員免許状更新講習の実施

教員免許状更新講習WG 山際 史子

本学の教員免許状更新講習も5年目となりました。今年度も、本学の開講講座をすべて受講すれば教員免許状の更新が可能となるよう必修領域を2講座、選択領域を6講座の合計8講座を開講し、延べ260人を超える先生方の参加をいただきました。

受講希望者が定員をオーバーする講座もあり、最終受講者は全講座で定員の7割を超え、本学の教員免許状更新講習も定着してきたようです。

今年度は、音楽や絵本を通しての表現法など、新たに実技を伴う講習も行いました。参加された先生方はどの講習も熱心に取り組まれていましたが、なにより、講習修了後も担当される本学の先生方に質問をしたり、他校の方と情報を交換するといった熱気を帯びた講習となったことが印象的でした。

大学

エベレット・コミュニティカレッジから絵画等を拝受



東邦学園90周年を記念して、海外交流協定校エベレット・コミュニティカレッジから絵画とフレンドシップの記念して作

成されたポスターをいただきました。

大学

キャンパス第2期整備工事

10月よりキャンパス第2期工事が始まりました。

図書館・本部棟の耐震性を高めるため、一部減築することとなりました。

また、中央に新たにラーニング commons の新棟を建築し、より教育環境の充実に努めます。

高校

中学生英語スピーチコンテスト

国際交流室長 伊藤 保憲

中学生英語スピーチコンテストは、今年度、第8回目を無事に終了させることができました。年を重ねるたびに規模が大きくなり、今年の出場者は61校から167人でした。



本校のスピーチコンテストは、自分で原稿から作るスピーチ部門と、本校が指定する英文原稿を暗唱朗読する

レシテーション部門に分かれています。どの出場者も時間をかけて準備し、練習して当日を迎えられたことと思います。人前で英語を使って話す勇気と、コンテストのために重ねた努力に敬意を表したいと思います。

また、当日を迎えるまでに出場者に寄り添い、ご指導に当たられた先生方にも心から敬意を表したいと思います。多くの皆様の深いご理解を頂いて、8回目まで続けることができました。来年度もより充実したコ

ンテストとなるよう実行委員一同、準備を進めていきたいと思っています。

高校

全国美術高等学校協議会を開催

美術科教諭 加藤 広士

東邦学園創立90周年事業の一環として、第44回全国美術高等学校協議会の全国大会が、10月24日と25日の2日間にわたり、東邦高等学校主催のもと本校と中区栄にて開催されました。本協議会は全国の美術科や美術コースを擁する58校が加盟しており、その内35校から55人、大学や企業より18人にご参加をいただきました。

研究協議では、各校の日頃の研究成果や課題について実りある



協議がなされ、将来の日本の美術文化を担う若い力の育成につながる機会となりました。また、各美術分野で活動する本校美術科卒業生4人と長沼均俊校長による対談シンポジウムの実施、同時期に開催された「あいちトリエンナーレ2013」の見学、本校吹奏楽部の演奏とダンス部の演技による歓迎行事を行い、ご参加された皆様と密度の高い時間を共有することができました。全国の美術教育、本校の美術教育の質実向上につながる、大変貴重な大会として成功裏に終えました。

高校

心肺蘇生講習会

保健指導主事 渡邊 素幸

高校の教職員を対象とした「心肺蘇生講習会」を実施しました。講師は日本赤十字社より派遣していただきました。

中間考査と期末考査の2回に分けて実施しました。各回とも多くの教職員が参加をして人体モデル等を活用しながら全員が真剣に心肺蘇生について学びました。



クラブ活動 高校

ダンス部

第5回NFCC全国ハイスクール ダンスコンペティションを終えて

ダンス部顧問 伊藤 恵子



8月29日(木)に名古屋市中区のアートピアホールにて開催されたコンペティションに1,2年生でチャレンジしました。オールジャパンドダンスフェスティバルでの「生きる私、生きる言葉」ダンスドリルでの「Kung-Fu SOUL」新入生歓迎フェスティバルでの「COLORS」参加した3作品とも決選に残り、おかげさまで「Kung-Fu SOUL」が“ソレイユ賞”を受賞させていただきました。これを励みに次は合同発表会に向けて取り組んでいきます。ありがとうございました。

水泳部

賢いスイマーを目指して

水泳部顧問 牧野 雅司

選手は毎日それぞれの目標に向けて頑張っていますが、目標を達成するために必要なのはトレーニングだけではなく、食生活も大切です。私たちの体を構成するものは、全て口から摂取したものからできています。日頃から何を食べなければならないかを意識しなければ、折角のトレーニングの効果も薄れてしまいます。



水泳部では、昨年から椋山女学園大学の学生で水泳部のOGに来てもらい、月1回の栄養講習会を開いています。そのなかでは、基本的な食品の成分の話から、スポーツ

における食生活のとらえ方、競技において十分なパフォーマンスを出すための補給の仕方などを学んでいます。

彼らが住む競泳の世界は、100分の1秒で争われる世界です。その100分の1秒を味方に付けるためにも、日頃からしっかりと食生活を意識してほしいと願っています。

空手道部

修練を積むのみ

空手道部部长 村田 悟

いずれの県予選も思い出深い、今次の新人戦も忘れられない。春の選抜大会出場を決めるこの試合。最初に全国への切符を握ったのは、男子個人組手で2年櫻井隼人だ。彼はこの秋の東京国体にも出場。愛知県5位入賞のその一翼を担った男である。

花形種目団体組手は先に女子が全国大会出場獲得。優勝である。次は男子だ。この日のために東海地方を連戦に連戦を重ねた。どれだけのOB・OGが力を貸してくれたことか。その一人ひとり、場面場面が「走馬燈のように」という言葉がリアリティをもって頭の中を駆け巡る。

5人で競うこの団体競技、先鋒思わぬ反則勝ちで小躍り。次鋒・中堅・副将までで2-2。大将戦にもつれ込んだ。たった一人の1年男子。松下がよく奮戦した。最後の数秒まで観戦者は祈るように目を凝らす。接戦の末敗退。「よくやった。よくやった。」本当によくやった。あとは次の試合に向けて修練を積むのみだ。

吹奏楽部

愛という名のもとに…

吹奏楽部顧問 白谷 峰人

苦しみや楽しみ、忍耐の連続、限界を超えるプレッシャー。家族の支えと応援を力に変えてすべてはあの瞬間のために…。

2013年11月4日(月)11時10分～11時16分。マーチング東海大会。この6分間は一生心に刻まれることでしょう。

粛々と行進が始まり徐々に鼓動が高鳴っていく中、会場を包み込むようなソフトなハーモニー。そこにアクセントを加えるパッハの調べ。素朴な感情を見事に表現するピッコロの音色。躍動感あふれるマーチと魅惑的なカデンツァ。愛の旋律からすべての感情を網羅



するシンフォニー。最後の音がホール全体に鳴り響き、その余韻とともに押し寄せる大歓声と拍手…。

涙なのか汗なのか、そんなことお構いなしに感情を爆発させ心の余韻を楽しんだ。誰もが疑わなかった。間違いなくお客様と繋がった瞬間だった。

素晴らしいショーを披露したメンバーにスタンディングオベーション。

あの日から70日後、2014年1月13日(月)。最後の幕が上がる。1年の集大成、第58回定期演奏会。次はどんなドラマが展開されていくのか。楽しみではない。このメンバーなら間違いなくお客様と繋がることのできるだろう。

また素晴らしいショーになります。愛という名のものと…。

第58回定期演奏会

日 時：2014年1月13日(月・祝)

16：50開場 17：30開演

場 所：愛知県芸術劇場大ホール

チケット：前売券800円 当日券1,000円

※前売券の販売状況により、当日券の販売をしない場合もあります。あらかじめご了承ください。

アメリカンフットボール部

4年ぶりの全国大会を終えて

アメリカンフットボール部顧問 川邊 雅志

10月6日(日)、南山高校グラウンドで東海大会の決勝戦が行われました。

今年度のチームは3年生を中心にアスリートがそろっていたので、今年こそ全国大会への切符を手にすることができると期待を込めて迎えた大会でしたが、2年連続で東海地区を制覇している南山高校は予想ど

おりしっかりとチームを仕上げてきていました。

春の大会では、同点延長で惜しくも苦汁を飲まれた相手なので、そういう点でも今回は負けられない試合でしたが、14対7で勝利し、4年ぶりの全国大会出場を決めることができました。



全国大会では、滋賀県代表長浜高校と対戦しました。最後の2分で逆転され、1点差で惜敗しましたが、生徒たちにも我々スタッフにも学ぶところの多い試合になりました。今回の経験を糧に、『常勝東邦』の復活を期して励んでいきたいと思っています。

バトントワリング

幕張の舞台で

バトントワリング顧問 中橋 杏奈

12月7日、第41回バトントワリング全国大会が行われました。今年は「絶対に幕張に！」と29人のチームで踊りあげる「響」という演目を披露しました。上妻宏光さんの楽曲FUNに乗せ、全員の思いを響かせ、無事に名古屋・東海大会を通過し、全国大会へと出場することができました。前日には、中央大学杉並高校のご協力で体育館を貸していただき、温かい声援をいただきました。また当日には、総勢70人の大応援団が幕張メッセに駆けつけていただき、生徒たちの大きな力になりました。今までで一番素晴らしい演技が披露できました。ありがとうございました。



クラブ活動 大学

硬式野球部

愛知大学野球秋季リーグ戦(2部Bリーグ) 第2位決定

硬式野球部部長 深谷 和広

平成25年度愛知大学野球秋季リーグ戦(2部Bリーグ)が9月6日(金)～10月29日(火)の期間で行われました。横道監督の指揮の下に部員一丸となって2部Bリーグ校(愛産大、名産大、名経大、星城大、同朋大)との2カ月にわたる熱戦、激闘を繰り広げてきました。



硬式野球部は、春の3部リーグ優勝の結果を受けて、秋季リーグ戦第2部Bでは7勝3敗0分け第2位の成績を残すことができました。2部Bリーグ戦において7勝を勝ち取り、チームとして来年度2部Bリーグ優勝が具体的に見えてきました。

横道監督の指揮の下、部員一同さらなる高みを目指します。春季リーグ戦に万全の態勢で臨みます。引き続き盛大なご声援のほどよろしくお願いします。

女子サッカー部

諦めない気持ち

人間学部人間健康学科4年 寺田 真有

女子サッカー部は、インカレ出場、東海リーグ1部昇格、愛知県選手権優勝を目標とし、日々励んでいます。今年度は、悔しくも東海地区予選4位と、インカレ出場を果たせませんでした。しかし、過去一点も奪えなかった静岡産業大学に初得点することができました。諦めない気持ちで掴んだ貴重な一点となり、来年



今年度夏合宿にて

度へ繋がる財産となりました。

また、愛知県選手権ベスト16、東海リーグ7勝2敗で現時点では首位です。集大成として東海リーグ1部昇格を目指し、チーム一丸となり頑張りますので、ご支援、ご声援の程よろしくお願いいたします。

男子サッカー部

サッカー部

人間学部人間健康学科1年 平松 卓也

愛知東邦大学サッカー部は現在、東海大学サッカーリーグ1部昇格を目指しています。今年は残念ながら10勝2分6敗の5位という結果で念願の1部昇格とはなりませんでしたが、チームは着実に成長してきています。



私たちは、藤川監督の熱心な指導のもとで、部員一人ひとりの自主性を育て、熱い気持ちで練習、試合、合宿、チーム運営などに励んでいます。部員数も増え互いに指摘し合い、時には厳しく、時には楽しく日々練習に取り組んでいます。来季こそ、チーム一丸となり目標である1部昇格を成し遂げたいと思います。これからも応援をよろしくお願いします。

吹奏楽団

コラボ企画大成功！

人間学部子ども発達学科3年 壺井 ひろこ



こんにちは。吹奏楽団です！私たちは、11月9日(土)に行われた大学祭で成田学長と宗貞先生とコラボ演奏をさせていただきました。

本番をより良いものにするため短い時間の中、先生方と練習を重ね、演奏面のアイディアを出し合いました。そのかいあって、本番はとても楽しく忘れられない思い出となりました。

この1年は吹奏楽団にとって挑戦する企画が多かったと思います。その一つがコラボ企画です。それを成功させることができ、団のレベルが上がったと思いま

す。これからもいろんな企画に団員一丸となって挑戦していききたいと思います。

ATTO(愛知東邦トレーナー組織)

現役女子学生初の NSCA-CPT合格者!!

ATTO顧問 葛原・西

本学の現役女子学生初のNSCA-CPT(NSCA Certified Personal Trainer)資格合格者が出ました。今回、合格したのはATTO部員で人間学部人間健康学科3年生の水谷理乃さんです。昨年度、卒業後に岡田真依さんがCPT資格に合格し、本学女子第1号になりました。それに引き続き、第2号かつ現役女子学生初のCPT資格の合格者がでたのは非常に喜ばしいことです。

これまでの実績の多くは男子学生でしたが、これからは女子の活躍がますます期待されます。

これまでの合格実績は以下の通りです。

CSCS資格

- ・4人合格(2010年度卒業生2人、2012年度卒業生2人)

NSCA-CPT資格

- ・8人合格(2010年度卒業生2人、2011年度卒業生2人、2012年度卒業生3人、2013年度3年生1人)

茶華道サークル

新しい試みに取り組んだお茶会

経営学部地域ビジネス学科2年 藤村 優司

茶華道サークルは、毎年大学祭で日頃のお稽古の成果を披露しています。

大学祭でお客様に精一杯のおもてなしができるように毎週、お稽古に励んでいます。

今年は長年ご指導いただいた先生と部長が代替わりしたことで、昨年までとは違い和室の模様替えなど、新しいことにも挑戦しました。その分、苦勞することもありましたが、先生や先輩方にアドバイスや手助けをしていただき、今年の大学祭も伝統を受け継ぎなんとか成功することができました。



卒業した先輩たちと一緒に

4年生の先輩方が引退後も部員一同しっかり先輩方の跡を継げるようこれからも努力していきます。

フットサル部

Fリーグチームとの交流

フットサル部顧問 松井 慶太

新年明けましておめでとうございます。

フットサル部の新しい活動を紹介させていただきます。

2013年の8月・11月にFリーグに所属する「湘南ベルマーレ」と交流を行いました。練習メニューを見学し、日々のメニューの参考にするためです。2回目の11月はビデオ撮影の許可をいただき、部の大切な財産になりました。

日本トップレベルのフットサルを体感する貴重な機会となりました。

今回の機会は湘南ベルマーレでトレーナーを務めている東邦高校サッカー部の卒業生からいただいたものです。卒業生のご協力を大変心強く感じております。

チームの成績はまだまだですが、今後もたくさんの応援をいただけるように学生たちと協力して取り組んでいきたいと思っています。ご声援のほど、よろしくお願いいたします。

東邦職DO!!

就職支援の企画を実施

人間学部人間健康学科3年 加藤 英人

就職支援サークル「東邦職DO!!」です。私たち「東邦職DO!!」は就職支援イベントを通じて、企業の方との交渉や打ち合わせなど“ビジネス体験”ができるサークルです。



名古屋オーシャンズ企業見学会にて

主な活動内容は「企業見学会の企画」、旬な企業情報の取材、「新聞の発行」などです。実際に企業に赴き企画の説明をしたり、就職に関する情報を収集しそれらをまとめた「新聞の作成」などを行っています。また、低学年でも参加できる「就活の意識調査アンケートの作成」などの企画も日々立案&実施しています。就職活動は自分の未来を決める重要な活動です。入学から誰よりも早い就職活動を始めませんか？

パートナーシップ インフォメーション

東邦学園サポーター「フレンズ・TOHO」への入会を
待っています！

個人としてでも法人としてでもご加入いただけます

「フレンズ・TOHO」事務局

「フレンズ・TOHO」は、東邦学園の支援団体として
1996年に発足いたしました。会員数は、2013年12月現在、
個人会員201人、法人会員131社となりました。

主な活動は、以下の通りです。

東邦学園への支援活動として、愛知東邦大学「地域創
造研究所」との協賛、就職課・学内企業展への協力など
を行っています。また、学生・生徒の皆さんには、全国
大会出場クラブに対して、激励の思いをこめて援助金を
贈呈しています。

会員向けには、講演・各種研修などを企画しました。
夏休みには、ちびっこ向け「親子理科実験教室」に加え
て「親子スイーツ教室」、10月には第2回「コーヒーの
おいしい淹れ方、飲み方教室」、11月には東邦学園理事
長 榊氏に講師をお願いし、「連続講座 いまさら聞けな
い ニュースそうだったのか」と題して、3回シリーズ
で開講いたしました。

また、「少年ドッジボール大会」も開催いたしました。
これは、地域のドッジボールチーム(小学生)を対象に、
東邦学園の90周年を記念して『東邦学園90周年記念ドッ
ジボール大会 トークン杯・ホーちゃん杯』争奪戦とし
て開催したものです。初めての試みであったにも関わら
ず、計26チーム・600人超の参加を得て大成功を収める
ことができました。

この他、「自然と親しむ会」との共催で、8月に「赤沢
美林」へ出かけました。歴史の道でタイムスリップを味
わったり、森林浴発祥の地で心地よい風を感じたり、素
敵な時間をすごすことができました。



全ての企画に地域のかたがたのご参加がいただけたこ
とは、何よりの喜びでした。こうした事業・企画への参
加を通して「触れ合うさまざまな人を仲間として、情報
を発信・受信し合うことにより、いろいろな生き方を学
び、『生涯学習の場』となる」ことを願っています。

また、企業の方々と学園近隣地域の企業の皆さまがフ
レンズ・TOHOにご加入いただくことで、東邦学園のサ
ポーターとなっていただくとともに、企業間協力や協業
が生まれるよう努力しております。多くの法人や個人に
加入していただき、学園と企業との関係だけでなく、法
人会員相互の連携や提携を生み出すために、当会がコー
ディネーター役となります。

皆さまの「フレンズ・TOHO」へのご加入をお待ちい
たしております。

フレンズ・TOHO事務局

TEL: 052-782-1241

Mail: friends@aichi-toho.ac.jp

祝 東邦学園90周年

愛知東邦大学同窓会邦友会 会長 戸谷 正行
東邦学園の90周年を卒業生の代表として心から
お祝い申し上げます。今年度は、毎年行っている
21・TOHO教育充実事業募金と90周年事業に対し
て寄付をさせていただきました。

11月に行われた大学祭には、例年同様学生会へ
の援助金と金券での援助をしました。そして、役
員有志による模擬店(そば、炭火焼きホルモン)・
役員が自分で作った野菜で野菜市を開催。特に天

候不順で苦勞しながら、農薬を最小限に抑えて
作った野菜は好評でした。



好評だった野菜市

Active students

プロ野球・横浜 DeNA ベイスターズから5位指名

関根 大気君 インタビュー

Q 指名おめでとうございます。指名された感想は？
指名された時は、正直はっとしました。自分の中では指名されないのではないかと、不安だったので。

Q 野球を始めたのはいつごろですか？そのきっかけは？

小学校1年生のとき、兄の影響で同じスポーツ少年団に入りました。

Q 東邦高等学校野球部にはどのような理由で入部しましたか？

一番早く声をかけてもらったからです。

Q 野球部の印象は？

野球レベルの違いを感じました。すべての面で自分よりうまい人が大勢いたので、目標になりました。

自分は負けず嫌いなので、外野手として使ってもらえるように体を作っていました。2年の秋まで結果がでませんでした。

Q 結果を出せるようになったのには、きっかけがありましたか？

特別な練習をしたというより、意識の変化です。

甲子園に行けなくて、全国には自分よりうまい外野手がいることを聞き、自分が変わらなくては、と思いました。

どうしてもプロ野球選手にならなかったもので、練習への取り組み方を変えました。

特に力をいれたのが、打撃練習（バッティング）です。通常練習の終わった後、居残りで練習をしました。

Q 3年生になり結果も出てきて、いろいろなメディアに取り上げられるようになりましたが、自分の中でぶれてはいけないと思うことはありますか？

公式戦で悔いを残したくなかったので、練習の量は減らさないことを決めていました。

打席で「あの時やっておけば！」という後悔は絶対したくないです。



Q 高校3年間の生活でもっとも印象深かったのは？
野球しかないです。悔いが残ったのは最後の試合です。

Q プロに入る前の今、どんな目標を持ち、どういう選手になりたいですか？

1年目から出場することが目標です。選手としては走攻守がすべて球界トップレベルの選手をめざしていきたいです。

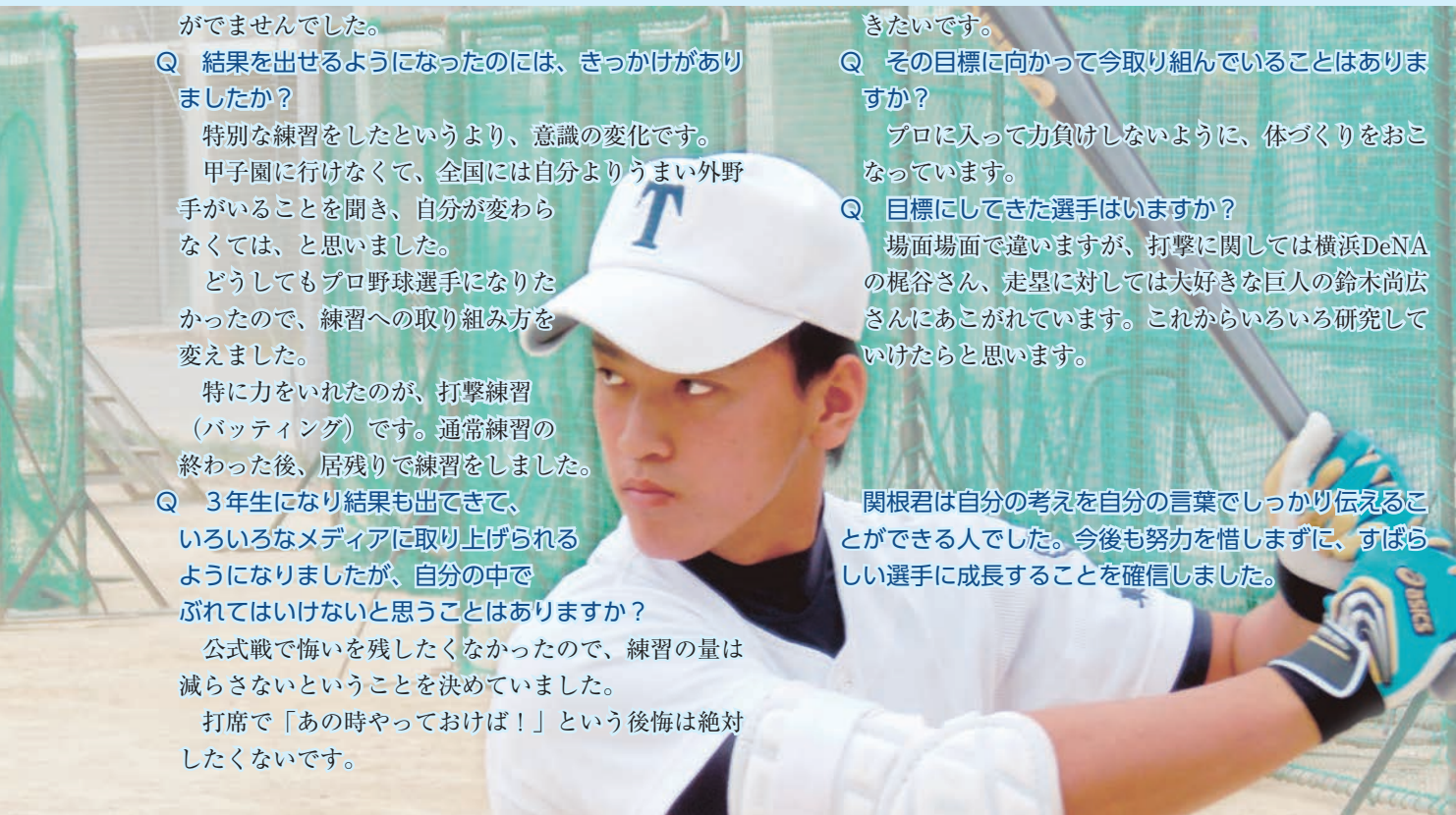
Q その目標に向かって今取り組んでいることはありますか？

プロに入って力負けしないように、体づくりをおこなっています。

Q 目標にきてきた選手はいますか？

場面場面で違いますが、打撃に関しては横浜DeNAの梶谷さん、走塁に対しては大好きな巨人の鈴木尚広さんにあこがれています。これからいろいろ研究していけたらと思います。

関根君は自分の考えを自分の言葉でしっかり伝えることができる人でした。今後も努力を惜しまずに、素晴らしい選手に成長することを確信しました。



〈大学 入試トピックス〉

東邦学園同窓生 特別入試

愛知東邦大学・東邦学園大学・東邦学園短期大学・東邦高等学校の卒業生の子、または愛知東邦大学在学学生・卒業生のきょうだいに対して入試を実施します。

特典として愛知東邦大学の入学金が半額となります。

一般入試と比べ条件も有利です。ぜひこの機会にご利用ください。

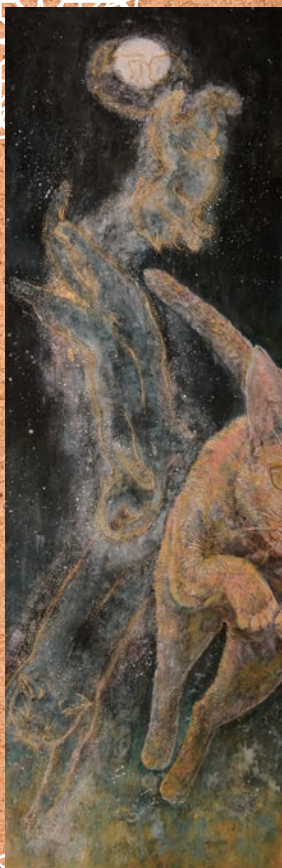
【Ⅲ期 出願期間】 2014年1月31日(金)～2月19日(水)

【お問合せ】 愛知東邦大学 入試広報課 電話：052-782-1600(直通)

未来の

芸術家たち展

(関連記事 5ページ)



高大連携事業『未来の彫刻家たち展』

東邦高等学校美術科2年彫刻専攻の8人が、大学施設内でお気に入りの場所を見つけて、その場所にぴったりの作品を制作します。この展覧会は、東邦高等学校美術科の高大連携事業で、一般の方もご覧いただけます。展示期間が限られていますが、是非ご観覧ください。

日 時／平成26年1月31日(金)～

2月4日(火)AM9:00～PM6:00まで

※最終日は、PM2:00まで

※2月1日(土)、2日(日)は、ご観覧できません。

場 所／愛知東邦大学施設内

出品者／東邦高等学校美術科2年彫刻専攻者

問い合わせ先／TEL(052)782-1171(代表)

東邦高等学校美術科教諭 杉浦見奈子

※駐車場がないので、公共交通機関をご利用ください。